

花きの県別生産出荷概況(11月見通し)

出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	県名	作型	主要品種	出荷期 期間 (ピーク)	作付面積 ha (前年比)	出荷見込み		11月のピーク(%)			主産地	作柄及び概況
						出荷総数 千本 (前年比)	京浜地域向 千本 (前年比)	上旬	中旬	下旬		
バラ	茨城県	施設	アマダ アバランチェ サムライ ほか	周年	2.8 100%	120 100%		30	30	40	古河市 石岡市 茨城町	・生育は平年並み。 ・病害虫の影響は特になし。
バラ	群馬県	施設 (周年)	アヴァランチェ サムライ08 ほか	周年 (5~11月)	11.8 100%	700 100%	515 94%	33	33	33	前橋市 富岡市 昭和村	8月から9月にかけての天候不順の影響から、芽吹きが悪く収量は少なく推移していたが、天候も安定し、10月中旬以降から品質・収量ともに徐々に回復傾向となる。全体の出荷量は微減となる見通し。
ロア メル リスト アト	北海道	周年	アイスクリーム アバランジェ アーロン レモネード	周年 (5・10月)	695 96%	4,247 93%		33	33	34	岩見沢市 JAIいわみざわ	・新株出荷が徐々に増えてきている。
スト ック	千葉県	施設		11~4月 (2~3月)	40 100%	94 100%	57 100%	10	30	60	館山市 南房総市 鴨川市	・夏季の育苗や今時期の定植も順調に進み、生育も順調。8月の低温や9月の高温の影響は受けず、開花・出荷は例年通りの見込み。 ・白、ピンク、マリン色が中心である。西岬地区からはアイアンシリーズ、神戸地区からはカルテットシリーズが出荷される見込み。

花きの市場別販売概況(11月見通し)

令和3年10月31日現在
出典:花き流通情報連絡協議会資料

品目	販売における現状と今後の見通し		
バラ	現状	婚礼向け品種で一部引き合い強まったが、入荷数量は増加し厳しい取引となった。月末に向けては、ハロウィンカラーのオレンジ系の引き合い強まる(大田)。山形、栃木、群馬、静岡等 中旬から暖地の出荷。本格的に、品質・量も安定 中値相場で推移した(FAJ)。入荷に波があり、相場も乱高下している(第一花き)。入荷に波があり、入荷量次第の相場となる(世田谷花き)。秋口の天候不順と高温の影響で上位等級の発生が少なめ。下位等級中心が多めの出荷。販売は婚礼等の業務需要は戻ってきているが小売はこれといった動きは無く弱含みの相場展開(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	気温の低下により、国産は上位等級中心となる。輸入については、ケニア、エクアドル産中心に潤沢な入荷見込み。引き続き、婚礼向け一部品種の引合は強まる見込み。
		FAJ	静岡、栃木、愛知等、暖地中心の入荷となる予定。下旬は高冷地減 連休前後は引合ある見込み。
		第一花き	暖地もの中心に入荷も落ち着きそう。
		世田谷花き	入荷量も落ち着く見込み。単価も保合。
		東日本板橋花き	東北産地は出荷ピーク過ぎてくる。かわって栃木、静岡県産がメインとなってくる。販売は業務、年末に絡みの動きが出てくる見込み。
アルストロメリア	現状	9月末から、各産地で数量増加傾向にあり、例年以上の出荷数量が続く状況となった。10月に入り、葬儀需要は落ち着き、価格が落ち着いたことから、ブーケメーカー・専門店への販売比重が高まった。安定した入荷が続き、堅調な相場となった(大田)。長野、山形、愛知等より入荷。入荷数量はほぼ平年並みで、月を通して販売価格も比較的安定(FAJ)。長野、山形、愛知中心。寒さの影響で下旬は少なく、相場高騰(第一花き)。上旬は高温で昨対比増量も、下旬にかけて冷え込みの為、入荷量落ち着く。引合やや弱め(世田谷花き)。愛知・青森中心の入荷。寒さの影響で後半は少ない入荷予想(東日本板橋)。	
	見通し	大田花き	愛知・長野・山形中心に出荷数量は安定した状況が続く。北海道は数量やや落ち着き、下旬に向けて減少していく。
		FAJ	引き続き愛知、長野、山形より入荷を予定。昨年並の数量で品質よく、上位中心の入荷を見込む。
		第一花き	長野、山形、愛知中心。入荷量が増えてくれば単価も落ち着く見込み。
		世田谷花き	数量やや落ち着き、引合強く、相場上がる。
		東日本板橋花き	愛知・青森中心の入荷。昨年並みの出荷量の予定だが天候次第で入荷増減あり。
ストック	現状	数量の少なかった昨年とは異なり、山形の出荷が順調に増加。前半は陽気も良かった為、冬花の動きは鈍い状況。後半は気温の低下とともにアイテム変更のお客様も増え、販売も比較的順調に進んだ(大田)。山形、福島、秋田より入荷。全体的に前進傾向で13日以降11月並の数量。季節早く軟調相場(FAJ)。山形・福島から出荷始まる。高温の影響もあり、短い物が多い(世田谷花き)。	
	見通し	大田花き	山形に加え、20日頃から千葉の出荷も開始する。季節品目としての需要が増え、安定販売となる見込み。
		FAJ	山形中心に秋田、福島より入荷予定。長さやモノも整いまとまった入荷となり、保合相場が予想される。
		世田谷花き	山形・福島県からの入荷。中旬にかけて各色増えてくる模様。